

事業所名

児童デイサービスセンターあいる

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

1 月

31 目

法人（事業所）理念		進化しながらの継続～ 一歩ずつ目標に向かってともに歩んでいく										
支援方針		『自分でできた！』という達成感を積みながら『認め合える』そんな喜びを知って、『自分って素敵』って思えるような体験を通して『お友だちが好き』になる・・・。 お互いの気持ちに気付けるようにていねいに関わりながら自己肯定感につなげていきます。 主体的に活動する力をはぐくむことを目指して行きます。										
営業時間		学校休業日 放課後	8 9	時	45 45	分から	17 18	時	45 45	分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	健康状態の把握 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を築くための支援を行います。健康状態の定期的なチェックと子どもの障害の特性や発達の過程・特性を考慮し、小さなサインから心身の異変に気付けるよう細やかな観察を行います。 ・ 基本的生活スキルの獲得、清潔な身の回りや食事、衣類の脱着、排せつなどの基本的な生活技能を獲得できるよう支援します。										
	運動・感覚	保有する感覚の活用 保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう、遊びなどを通して支援します。 ・ 感覚の特性への対応 感覚や認知の特性を考慮し、環境調整などの支援を行い、感覚の偏りに対応します。										
	認知・行動	感覚や認知の活用 保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促します。 ・ 知覚から行動への認知過程の発達 環境から情報を取得し、選択し、行動につなげる認知過程の発達を支援します。 ・ 行動障害への予防及び対応 感覚や認知の特性から生じる行動障害の予防や適切な対応を支援します。										
	言語 コミュニケーション	言語の形成と活用 具体的な事物や経験と言葉の意味を結び付け、体系的な言語習得や自発的な発生を促進します。 ・ 受容言語と表出言語の支援 話し言葉や文字・絵カードなどを用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする能力を支援します。 ・ 読み書き能力の向上のための支援 障害の特性に合わせた読み書き能力の向上を支援します。										
	人間関係 社会性	自己の理解とコントロールのための支援 自己の行動や感情を理解し、コントロールできるように支援します。 ・ 集団への参加への支援 集団活動に参加できるよう支援します。										
家族支援		・ 必要に応じて困りごとに対応していく。 ・ 急な依頼に対応できるようにする。 (契約曜日以外の利用希望、支援時間前後の延長支援等)						移行支援		・ 必要に応じて保護者、他事業所、相談員、学校と情報共有し 役割分担について協議していく。		
地域支援・地域連携		・ 必要に応じて子どもに係る地域の関係者、関係機関と連携していく。						職員の質の向上		同行援護従業者養成研修、強度行動障害支援者養成研修、児童発達支援管理責任者研修等の外部研修。 虐待防止研修、身体拘束適正化研修、BCP研修、安全計画研修、感染防止研修等の社内研修。 外部講師によるSST研修。等により質の向上を図っていく。		
主な行事等		制作(染物、カレンダー、写真立て、リースなど) クッキング(ライスピザ・たこ焼き・うどん・クレープなど)、余暇活動(果物狩り・動物園・美術館・空港・お花見・ピクニック・牧場・ボーリング・ボルダリング・登山など)、感覚遊び集団遊びの中で基本的生活習慣の習得、社会性を高め自己肯定感につなげていく。										